



季刊報も2年目を迎え、T-Biz入居企業各社の4半期毎の事業状況概要を広報する事に一定のご評価をいただきました事に感謝いたします。この1年間の状況を振り返りますと「入居企業の現在の事業化進捗状況が判って興味深い」、「研究開発だけでなく、事業化して社会実装する事に邁進している事を強く感じた」、「課題解決型企業が多く入居しており、ビジネスが見える化出来ていて商談の参考になる」、「セミナーや展示会、商談サポートなど支援内容が判り入居検討を行いたいと思った」、「自治体や関連機関との連携に依るネットワークが魅力的と感じた」等のご意見をいただきました。T-Bizは、これからも皆様の声を傾聴し、“Deeptech nest”としての支援を更に深耕してゆきます。
東北大学連携ビジネスインキュベータ 【T-Biz】 チーフインキュベーションマネージャー(CIM) 工藤 裕之

T-Bizセミナー開催報告……補助金・助成金等支援事業ご紹介

令和4年度となり、今年度も行政機関や支援団体からの各種支援事業が発表されました。T-Bizでは、たくさんの有益な支援事業を有効に活用いただけるよう、そして入居企業の皆様の事業発展を後押しするため、今年もT-Bizセミナーとして支援事業ご紹介の機会を設けました。

今年度の支援事業がほぼ出そろった4月25日、T-Biz内会議室において『~知って活用したい! 制度活用 法~ 令和4年度研究開発/販路開拓等の支援事業ご紹介』を開催、今年度は新型コロナウイルス感染症対策を十分に行った上で、人数制限を設けてのリアル開催といたしました。支援をいただく宮城県・仙台市・公益財団法人みやぎ産業振興機構・国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の4者様に会場にお越しいただき、各種支援事業のご紹介をいただきました。ご参加いただいたT-Biz入居企業と東北大学研究機関の皆様は、リアル16名、オンライン7名、計23名と大変盛況で、補助金等有益な情報提供を受けることができ、充実した内容だったというお褒めの言葉を頂戴しております。セミナー終了後は、参加いただいた行政機関や支援団体の皆様との名刺交換や直接の相談をいただくなどリアル開催の良さを十分に感じていただけたと思っております。



特許庁長官がT-Biz来訪

2022年6月14日、特許庁長官(当時)の森 清様にT-Bizに来訪いただきました。当日は特許庁より森長官を含め3名様、東北経済産業局の平井局長を含め2名様が同行され、計5名の方々にご来訪いただきました。機構東北本部の宮本本部長と小村部長、T-Biz工藤 CIMと意見を交わし、中小機構とT-Bizの事業体制とT-Biz入居企業紹介、そして支援事業の内容をご案内しました。

森長官はT-Biz入居企業のJ-Startup, J-Startup TOHOKU選定企業数が多いことに関心を持たれ、引き続きINPITを活用しつつ、国内外を目指す企業への支援にご期待を寄せられました。

IM室としては、海外展開拡大時の知的財産権や、IPランドスケープを活用した事業計画構築など、今後もセミナー等により皆様に情報提供して行く計画ですのでよろしくお願いたします。

当日は、ファイトケミカルプロダクト北川先生・加藤社長との意見交換とプラント見学も実施されました。こちらの件はファイトケミカル社のホームページを参照願います。

<https://phytochem-products.co.jp/>



T-Bizパンフを持つ特許庁森長官 (左から2人目)

主要メディア掲載

■2022年3月27日 NHK BS1 2/5にNHK WORLDで放映された「The Signs」『Japan's COVID R&D Frontline』が再放送。ボールウェーブの山中先生と赤尾社長が再登場しました。
<https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/ondemand/video/2089022/>

■2022年5月10日付 PR TIMES、日本経済新聞、河北新報 シグマアイと包装資材商社間で量子アニーリングを活用した作業効率化に向けた実証実験を開始しました。
<https://www.sigmailab.com/news>

■2022年6月2日付 化学工業日報 レボルカは、第3者割当増資により3.5億円の資金調達を実施しました。3月に新規希少疾患治療薬のAI創薬に係る共同研究契約を大日本住友製薬株式会社と締結、同社のプラットフォーム技術であるAIを利用した進化分子工学(aiProtein)を用い、共同で疾患関連タンパク質の新規創製を行います。
<https://www.revokka.com/>

『J-Startup TOHOKU』に5社が選定

■経済産業省東北経済産業局の『J-Startup TOHOKU』2022年の選定企業32社が発表され、T-Biz入居企業からは今年も、スーパーナノデザイン・ファイトケミカルプロダクト・T B A・Blue Practice・ライフラボラトリーの5社が選定されました。

https://www.tohoku.meti.go.jp/info_plaza/topics/220510.html

T-Biz入居企業ご紹介

HKテクノロジー株式会社 HK Technology LTD.



代表取締役社長
高木 祐 氏

働く人の空間環境を改善し、
『安全・安心を一步前へ』進める
お手伝いをしています。

安全対策の新たなソリューションを創る

『安全』と『安心』はいつの時代にも、どんな業界や職場でも求められるもの。「不安が残る職場」を「安心して働ける職場」へ空間環境を改善し『安全・安心を一步前へ』進めるお手伝いをすることがHKテクノロジーの役割と考えています。

SDGsが世界的に浸透する中、お客様の現場における「働く空間環境」の改善ニーズは、より高まっています。同時にDXにより社会が変革する中において「ものづくりにおける新技術の創造」は、更に重要な役割を果たします。時代とともに変化し新たに追加される安全対策、その要求に答えを出すソリューション提案型企業としてHKテクノロジーはエンジニアリングに基づいた製品を提供しています。

発電所の安全対策として忘れられないことは東日本大震災時の原子力発電所電源喪失事故です。火山列島である日本において、火山灰の設備への影響も無視できません。原子力発電所停電時の電源として使用する非常用ディーゼルエンジン発電機の吸気においても火山灰対策が必要となり、当社では、高濃度の火山灰を長時間にわたり、高い捕集率で稼働する火山灰対策用のセパレーターを開発。その他、大規模地震発生により薬液タンクの倒壊や堰の破損に備えて液面を常に覆い、



粉塵除去セパレーター

漏洩危険物の遮断に威力を発揮する液面被覆フロートなど、お客様の課題に基づいた解決策を開発・提案しています。普段は目に見えないところで私たちは社会の環境改善と安全・安心を図り、人類社会の進歩と発展に貢献しています。



液面被覆フロート

技術者の「やってみたい」を実現させる企業になる

「アイデアはあるが要素検討や試作など、具体化ができない」こんな悩みを抱えている企業の技術者の皆様より、当社は日々、技術開発案件についてご相談をいただいております。

当社では、分野を越えて、技術開発から量産までをワンストップで実現する、「Next-gen Engineering & manufacturing」を実現する企業を目指し、様々なテーマに取り組んでいます。

- ・工場設備の埋設配管を走査するロボットの開発
- ・排気設備内のオイルミスト除去装置の開発
- ・社内マニュアルの新旧差分抽出ソフトの開発 など

これらはその一例ですが、アイデアの要素検討から、試作開発、実証試験、実機納品までの一連をお届けする、お客様のもうひとつのラボ&ファクトリーとして、Made in Japanの『安全・安心を一步前へ』進めて参ります。

これからも従来の『型』にとらわれず、柔軟かつダイナミックなチャレンジで課題を解決し、空間環境の改善をはじめ、持続可能な社会を創造する企業としてお客様のご要望に応じて参ります。

T-Biz入居のメリットは？

東北大学未来科学技術共同研究センター(NICHE)名誉教授である庄子哲雄先生の技術支援をいただき事業を進めています。T-Bizは大学研究室のすぐ隣にあり、東北大学の先生方との連携もしやすく、学術的なバックアップも得られています。

T-Bizインキュベーションマネージャーやスタッフからの親身のサポートにより、各種補助金や制度などスタートアップに必要な情報が適切に入手出来ています。補助金活用により低コストのスタートアップが可能となっており、大変助かっています。

《企業プロフィール》



2015年7月、お客様の働く環境に関する「なんとかならないのか？」を解決し、『安全・安心を一步前に』進める製品・サービスを開発・提供するという理念のもとに操業。それ以来、課題解決型企業として液体・気体からの環境を改善するたくさんの製品を提供し、国内大手企業の工場の安全・安心を支え続けている。漏洩危険物の遮断(未然防止)や発電所の火山灰対策など、普段、目に見えないところで環境ECOに大きく貢献しており、2020年4月には兵庫県最先端技術研究事業(COEプログラム)に採択された。

HKテクノロジー株式会社

[本社工場] 〒651-2132 兵庫県神戸市西区森友2丁目15-5

[仙台ラボ] 〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻青葉6-6-40

東北大学連携ビジネスインキュベータ 408号室

<https://www.hk-tech.co.jp/>



展示会参加状況紹介

■**エーアイシルク** 3/22～24 ドイツ ミュンヘンで開催された、『**LOPEC 2022(オーガニック&プリント・エレクトロニクス産業国際見本市)**』に出展しました。Heraeus社ブースでエーアイシルク社が昨年10月に発表した高機能な導電性繊維『**LEAD SKIN**』の製品紹介と、スポーツ・医療向け用途や、車載用途向け繊維センサーソリューション等を情報発信されました。新型コロナウイルス感染拡大時期でしたが、岡野社長が現地に飛び、海外企業との多くの商談に参加してきました。今年は、海外展開も積極的に進めているエーアイシルク社です。

AI SILK®



Heraeus社ブース

ブース前の岡野社長

<https://messe-muenchen.jp/expo/2022/lopec/04.php>
<http://www.ai-silk.com/>

■**シグマアイ** 5/11～13 東京ビッグサイトで開催された『**第2回量子コンピューティングEXPO【春】**』の凸版印刷ブースにて、凸版印刷と共同開発した量子アニーリングの活用事例を展示いたしました。出展の内容は、PR TIMESに事前掲載されました。



<https://www.sigmailab.com/>

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000015.000051822.html>

■**3Dイノベーション** 4/20～22 パシフィコ横浜で開催された『**レーザーEXPO 2022**』に出展しました。同社独自の「周波数シフト帰還形(FSF)レーザー」を用いた高精度な距離計測技術を応用した製品と、その他実績のある特注製品を紹介し、多くの方にご来場頂きました。

<https://www.opie.jp/>
<http://www.3dinnov.com/>



■**ボールウェーブ** 5/18～20 東京ビッグサイトで開催された『**ifia JAPAN2022(国際食品素材/添加物展・会議)**』に参加しました。JAXAイノベーションハブとの共同研究をもとに開発された手のひらサイズの超小型高性能ガスクロマトグラフ「**Sylph**」(シルフ)を出展しました。また、赤尾社長は開催期間中『手のひらサイズのガスクロを用いた日本酒の香気成分分析』のタイトルで5/19・20の両日ピッチに参加、大変盛況で立ち見の参加者がでる状況でした。食品業界からボールウェーブ社への期待のほどが表れた展示会でした。



ボールウェーブ社ブース前と、大勢の参加者であふれた赤尾社長ピッチ会場



<https://www.ifiajapan.com/24415>

<https://www.ballwave.jp/>

中小機構 東北本部 本部長交代のお知らせ

中小企業基盤整備機構東北本部は、2022年4月1日付人事異動により本部長が交代となりましたので下記のとおりご案内いたします。
 【退任】(3月31日付) 杉村 均(すぎむらひとし) 【就任】(4月 1日付) 宮本 幹(みやもと みき)
 紙面をお借りして新本部長の宮本よりご挨拶をさせていただきます。



東北本部 本部長
宮本 幹

東北本部長に着任した宮本幹と申します。

弊構の活動をご紹介しますと、中小企業の安定した成長に資する経営基盤強化を目的に、中小企業大学校仙台校やサテライトゼミなどが座学で、海外展開を含む経営支援のハンズオンが現場で、人材育成支援をご提供しています。また、小規模企業の経営者や個人事業主などを対象とした積み立て型退職金制度の小規模企業共済は153万人に、取引先の倒産や災害の不渡りなどによる経営難を防ぐ経営セーフティ共済は54万社にご利用いただいています。将来の安心・安全と節税のために、これら共済制度へのご加入の検討をお勧めしています。

弊構では2007年開設のT-Bizも含めて全国29箇所でのBI施設を運営しています。大学発ベンチャーに関する経産省調査によると、3,300社超が創業(21年10月時点)し、東北大学発は157社が創業しています。東北大学は2030年度までに100社創出を目標として掲げ、同大の産学連携機構ではBIPという支援制度を構築・展開して2013年以降で72件を支援しています。こうした東北大学の活動に加え、東北経産局や自治体、VCなど多様な支援機関による東北地域におけるベンチャー支援によって、創業が一層進展することが期待でき、東北本部がそれらの支援機関との連携の下、その一端を担うことができれば大変光栄に存じます。T-Bizにご入居の皆さまや支援者の方々に直接お会いできておらず、紙面でのご挨拶となり大変恐縮ですが、是非近いうちにお会いできることを楽しみにしていますし、その際にご指南を賜れば幸いです。コロナの早期収束と順調な商機拡大を祈念しまして着任のご挨拶に代えさせていただきます。

T-Biz 入居企業情報 (補助金・助成金採択関係)

■**EXA** 福島イノベーション・コースト構想に係る令和3年度地域復興実用化開発等促進事業費補助金(第2次公募)廃炉分野に採択。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/jitsuyoka/03jityyoka-2-saitaku.html>

■**エーアイシルク** NEDO主催2022年度公募に採択され、助成金

交付が決定。 <http://www.ai-silk.com/topics/information.html>

■**パンソリューションテクノロジーズ** 「ホームページのリニューアルによる販路開拓と営業力強化」の補助事業名にて「小規模事業者持続化補助金〈一般型〉」に採択。

<https://psts.jp/>

T-Biz 入居企業情報

■**ボールウェーブ** 3/23のGLOBAL START UP CONNECTION in TOHOKU に赤尾社長が登壇。
<https://gsc2022-tohoku.jp/>

一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)による「第7回 JEITAベンチャー賞」を受賞しました。
<https://www.jeita.or.jp/japanese/pickup/category/2022/venture.html>

シスメックス社(本社:神戸)との間で、超小型ガスクロ「Sylph」の販売代理店契約を締結。
<https://www.ballwave.jp/news/>

■**三幸** 帝国データバンク発行『日刊帝国ニュース』5/26号の「企業 ZOOM UP」に奥野社長インタビューが掲載されました。
<https://kk-sanko.co.jp/info/>

■**エーアイシルク** イノベーションリーダーズサミットによる提携事例紹介。
<https://ils.tokyo/performance/case/case28.php>

■**シグマアイ** 仙台市の情報誌「仙台特区」Vol.11に事業開発担当の羽田マネージャーが登場。
<https://sendai-tokku.jp/book/>
Webメディア向け独自アルゴリズム共同開発をプレスリリース。
<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000016.000051822.html>

■**TBA** タイ工業省ビジネスマッチングサイトの「T-GoodTech」に掲載。
https://www.t-bioarray.com/article/#list_18112

『簡易遺伝子検査技術を活用したハラール用偽装肉判別検査キットをタイで販売開始』をプレスリリースしました。
<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000002.000098507.html>

■**大武・ルート工業** JETROホームページの地域・分析レポートにてエコ海外法人活動開始に伴う太田常務へのインタビュー記事掲載。
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2022/c4fec705885acdcd.html>

■**輝翠TECH** 仙台市起業支援センターの「アシ☆スタ」に、ブルーム・タミルCEOの開業インタビュー記事が掲載されました。
<https://www.siip.city.sendai.jp/assista/interview/6623>

参加型ニュースサイト TOHOKU360 にブルーム・タミルCEOのインタビュー記事が掲載。
<https://tohoku360.com/kisuitech/>

■**ストーリーライン** 5/16新規入居。超臨界CO2抽出技術を用いた新たなデカフェ(カフェインレスコーヒー)の開発と製造・販売。
<https://storyline.coffee/> <https://storyline.official.ec/>

T-Biz 施設ご紹介

充実の設備と恵まれた環境をぜひ一度ご覧ください



研究開発や製品の試作・製造拠点、オフィスとしてご利用いただくタイプの居室

※ P2レベルまで可能(動物実験は不可だが、遺伝子組換え用微生物・魚類の評価飼育までは可能、要相談)



主にオフィスとしてご利用いただくタイプの居室



大人数の会議・セミナー等に使用できるプロジェクト・音響設備完備の共用会議室(1室・予約制)

T-Biz 入居者募集居室ご紹介 (2022年 6月末現在)

ウェットラボ タイプ1	206号室(59.21㎡)	
ウェットラボ タイプ2	201号室(45.44㎡)	205号室(45.57㎡)
オフィス	401号室(43.22㎡)	

居室面積や詳しい居室仕様などは下記ホームページをご覧ください。T-Bizにお問い合わせください。

T-Biz アクセスとお問い合わせ先



JR仙台駅からお越しの際は
地下鉄東西線「仙台」駅から
「八木山動物公園」駅行きに乗車(約9分)。
「青葉山」駅下車、南1出口から徒歩約2分。
タクシーをご利用の場合(約15分)は
「東北大学未来科学技術共同研究センター」と
指示してください。その東隣です。



T-Biz 東北大学連携ビジネスインキュベータ

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-40

☎022-726-5866

<https://www.smrj.go.jp/incubation/t-biz/>



●中小機構は、新たな一歩を踏み出そうとしている経営者をハードとソフトの両面からサポートします。

https://www.smrj.go.jp/regional_hq/tohoku/index.html

インキュベーション
常駐する専門家が早期事業化を一貫してサポート

起業相談支援情報
AIを活用した経営相談 J-Net21による起業・創業に役立つ情報サポート

アクセラレーション
資金調達や事業提携に向けた伴走型のアクセラレーター支援

ハンズオン支援～専門家派遣～
個別の経営課題に応じて豊富な経験と実績を持つ専門家チームを派遣

ビジネスマッチング
展示会・商談会や「J-GoodTech」サイトで販路開拓をサポート

創業支援拠点
TIP*S・BusiNest 交流や学びの場を提供 実践の第一歩をサポート

Be a Great Small.
中小機構
中小企業基盤整備機構
東北本部